

1. 今年度業務の目的と基本的な考え方

1-1. 今年度業務の目的

(1) これまでの取り組み背景

関係地権者等意向醸成については、「普天間飛行場の跡地利用の促進及び円滑化等に係る取組分野ごとの課題と対応の方針についての取りまとめ」を受けて、「普天間飛行場関係地権者等意向把握全体計画（H13年度）」が策定された。その後、「計画づくり」、「地権者等意向醸成」に関する取り組みが進められてきている。

①計画づくり

計画づくりについては、「跡地利用基本方針、行動計画の策定」、「キックオフ・レポート、土地利用・環境づくり方針案の作成」、「全体計画の中間取りまとめ（素案）作成」、「全体計画の中間取りまとめの策定」という流れで段階的に具体化が進められてきている。今後は平成29年度に「跡地利用計画（素案）」の策定が予定されている。

②地権者等意向醸成

合意形成に向けた場づくり・人づくり・組織づくり等の活動を長期的展望のもとに展開し、「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下、若手の会）」、「ねたてのまちベースミーティング（以下、NB ミーティング）」の組織化等が図られてきた。

また、各種団体や大学生等と地域全体の連携のもと協働の取り組みが展開されている。

(2) 本業務の目的

平成29年度に策定が予定されている「跡地利用計画（素案）」に向け、地権者等意向醸成（本業務）においても計画や事業の具体化に向けた合意形成に転換していく重要なステップを迎えている。

そのため今年度においては、「全体計画の中間とりまとめ」の内容の更なる周知を図った上で、「跡地利用計画（素案）」策定後の事業化に向けた対応を見据え、地権者・市民の意向集約に向けた体制づくりを徐々に整えていく事とする。

また、今後は事業化に向けたより具体的な検討がなされていく事から、土地活用の手法等具体的な知識の習得を図っていく事とする。

1-2. 今年度業務の基本的な考え方

前頁の目的を踏まえ、今年度業務の基本的な考え方と取り組み方針は、以下の通りとする。

【今年度業務の基本的な考え方と取り組み方針】

基本的な考え方	取り組み方針
中間取りまとめの内容の更なる周知	・説明会等での詳細な説明。 ・継続的な情報発信を行い、内容の周知と跡地利用に対する機運を高める。 ・イラストや図等を多用した分かりやすい情報提供の実施。
土地の共同利用に関する知識の習得	・共同利用に関する勉強会により知識の習得を図ると共に、まちづくりへの機運醸成を図る。
回収率向上に向けた取り組みの実施	・アンケート実施の目的及び重要性について詳細な説明。 ・継続的な情報発信を行い、内容の周知と跡地利用に対する機運を高める。
事業化に向けた地権者の体制づくり	・若手の会と地主会の連携強化のための活動展開(普天間飛行場対策部会との連携体制づくり) ・若手の会の定例活動の充実及び自主活動の支援による活動の活性化。
市民の関心の向上に向けた取り組みの実施	・継続的な情報発信を行い、内容の周知と跡地利用に対する機運を高める。 ・イラストや図等を多用した分かりやすい情報提供の実施。 ・市外、県外への情報発信に向けたホームページの更新。 ・N B ミーティングの活動活性化に向けた魅力的な活動の実施と活動内容周知のための情報発信。 ・市民自身が住む地域の点検からまちづくりの議論に繋げ、機運を高める。
「(仮) ゆめ会議」の組織化に向けた取り組みの実施	・合意形成活動の方向性等について継続した議論を実施。 ・若手の会及びN B ミーティング合同での勉強会や意見交換会、先進地視察会等の継続実施による組織間の連携強化

「全体計画の中間とりまとめ」の更なる周知及び土地の共同利用に関する知識の習得を図る事により、今後実施する地権者アンケート調査の回収率向上にも繋げていくものとする。

また、地権者のまちづくりに対する更なる啓発と合わせて、今後の事業化に向けた地権者の体制づくりを進めていく事とする。

市民に対しては地権者と同様に全体計画の中間取りまとめの更なる周知を行う事と併せ、関心向上に向けた取り組みを継続して行う事とする。

そして今後の「(仮) ゆめ会議」の組織化に向け、地権者及び市民の組織や連携体制の確立を目指し、合意形成活動の方向性等について議論を継続して行っていく事とする。